

<https://www.youtube.com/watch?v=ThcTXGtEOdg>

アロ〜ハ！「よみがえりの日曜日」のお祝い/復活祭へようこそ。そして今日時間の終わりには、一緒に聖餐式も実施します。まだご準備しておられない方は、聖餐式のセットをご用意ください。一緒にお祝いしましょう。それで、このいつもと違うよみがえりの日曜日のお祝いは、少し違うことをしたいと思います。今日は、「過ぎ越しの預言」についてを皆さんにお話ししたいと思います。皆さんが私に、聖書の中で最も魅力的で興味をそそられる預言の一つは何かと聞かれるなら、“過ぎ越しの祭り”が、リストのトップにあるでしょう。理由は、過ぎ越しの祭りは、イエス・キリストを指し示す預言であり、イエス・キリストによって成就されたからです。イエス・キリストの十字架と復活によって。それが今日私たちがお祝いする事です。過ぎしは、実際に7つの祭りの最初です。これはご自分でなさろうと思えば、とても魅力的な勉強になります。イスラエルに与えられた”主の七つの祝祭日。”それはレビ記、第23章にあります。私たちがレビ記を学んでいた時、私たちは実際にこれらの7つの祭りで7週間のシリーズをしました。そしてこれらの祭りの預言的意義を学びました。何が興味深いかというと、旧約聖書の原語ヘブライ語には、「祭り/Feast」という言葉は、実際に私の母国語のアラビア語と同じです。それは「モアッド/Moad」という言葉です。モアッドはとても面白い言葉ですが、それは約束された時間を指し示すという 意味があり、あるいは、まだ未来にあり、必ず成就される約束をも、指し示すという意味です。

例えば、私が母国語のアラビア語でこう言えば、○△x○△x○△△x x x (アラビア語) 私が言ったのは、「私はあなたと約束(モアッド)がある」です。それは、約束された時間を指し示すことを意味し、まだこの先に成就される約束を指し示すサインです。それが、これらの祭りだったのです。モアッド。

こういうわけで、7つの祝祭日は全て、イエス・キリストを指し示し、イエス・キリストによって成就されるのです。彼の初臨において。そして携挙と、彼の再臨においても。よろしければ、私はこれらを皆さんと、ざっと見ていきたいと思えます。ところで、ライブ配信が終わると、ホームページにPDF ファイルをアップロードします。皆さん、それをダウンロードして印刷することもできます。スプレッドシート形式で、チャートリストに、参照聖句；類似点；祝祭日；預言成就があります。そのすべてが今日の時間の終わりに ご利用可能になります。では、過ぎ越しから始めます。

”過ぎ越しの祭り”は、イエス・キリストの磔刑で成就した預言であり、予型です。

2番目の祭りは、“種なしパンの祭り”イエス・キリストの埋葬です。

”初穂の祭り”は、イエス・キリストの復活です。

”七週の祭り（ペンテコステ）”は、教会の時代。ペンテコステの日に聖霊が降臨した時、教会が誕生し、預言が成就しました。7つの祭りのうち最初の4つは既に成就しました。残りの3つの祭りを順番に見て行きます。

”ラッパの祭り”

”贖罪の日（ヨム・キプール）”

そして、“仮庵の祭り”

さて、ここが面白くなるどころです。これらの特別な祝祭日とその成就については、多くの意見があります。私は個人的に、“ラッパの祭り”は まだ未来に成就されるものだと信じています。それは教会が

携挙される時で、そしてまた、患難時代の始まりだと。私は、「これらはイスラエルのための祭りだ」と仰る方々がおられることを知っています。「携挙が、ラッパの祭りの日に起こらなければいけないとは言えない」と。それはその通りです。なぜなら、切迫性(いつでも起こりうる)の教義を解体し、混乱させ始めることになるからです。しかし聖書には、2つのラッパがあるのを理解することが重要です。

1つのラッパは、神のラッパであり、それは教会のためです。もう1つのラッパは、御使いのラッパでそれはイスラエルのためです。ラッパ(の祭り)は教会携挙だと私は信じています。それはまた、7年間の患難時代の始まりとなる、と。そして、次の祭りは”贖罪の日(ヨム・キプール)” 私はそれが再臨で成就すると信じています。そして最後に、”仮庵の祭り”(スコット)これは千年王国です。千年王国の統治が地上でなされ、その後、永遠の未来です。さて、この順序に注目すると、興味深いのです。ヨハネの黙示録に概説されている神の秩序に並行しています。具体的には、黙示録第1章19節。ヨハネはイエスから次のように言われました。

**「それゆえ、あなたが見たこと、今あること、この後起ころうとしていることを書き記せ。」(黙示録1:19)**

「この後」とは、ギリシャ語で「メタ タウタ」。ですから、黙示録に入ると、神から当たられたこの美しい概要があります。過去・現在・そして未来。第1章は過去です。イエス・キリストが十字架につけられ、埋葬され、復活された。過越の祭り・種なしパンの祭り・初穂の祭り 第2章と第3章は、現在です。私たちは今、教会の時代に生きています。私たちは今、黙示録の第2章と第3章にいます。7つの教会宛の7通の手紙。それは、人類の歴史、そして教会の歴史において 私たちが現在いる場所です。そして興味深いのは、黙示録の最初の3章で、「教会」という言葉は19回言及されています。第4章1節から以降、「教会」という言葉は出て来ません。それには理由があります。4章1節からのすべてがまだ未来なので、これらの事の後に=メタ タウタ。何の後に? 教会の歴史のあと、教会の時代の終わりに。4章1節でヨハネは、ラッパの音で「ここへ上れ。」と言われます。彼は、引き上げられます。携挙される、と言ってもいいでしょう。天に。そこで彼は見せられ、彼に明かされます。そして、彼は教会の時代の終わりと教会の携挙の後に起こるすべてを書き記します。そして、6章から19章に入ると、7年間の患難時代があります。そして、7年間の患難時代の終わりに 贖罪の日(ヨム・キプール)が成就します。イスラエルの国全体が救われる 贖いの日です。パウロがローマの教会宛に書いている通りです。黙示録の20章は、再臨と千年王国、仮庵の祭りです。そして、21章と22章、新天新地=新しい天と新しい地。これが永遠の未来です。私はそれをさらに一歩進めたいと思います。いろいろな情報や詳細で 混乱させてなければいいのですが。でも私にはこのことから、言いたいことがあるのです。なぜなら、驚くべき預言的な類似点があるからです。出エジプト記のイスラエルと、そして7年間の患難時代のイスラエルに関して。どうかどうか、知ってください。患難時代の目的は、ユダヤ人国家の救いのためであると。教会はここにはいません。教会は、患難時代が始まる前に取り去られます。私がしたいことは、出エジプト記で起こったことと、黙示録に記録されている7年間の患難時代の中で 起こるであろう未来のこととの間の、預言的な類似点のいくつかをざっと説明する事です。

出エジプト記では、イスラエルは奴隷にされています。黙示録では、イスラエルは苦しんでいます。出エジプト記では、イスラエルは パロに虐げられて欺かれています。そして、黙示録ではイスラエル

は反キリストによって攻撃され、欺かれています。出エジプト記には、モーセとアロンの2人のリーダーがいます。黙示録では、2人の証人。それが、モーセとエリヤだと信じている人もいます。出エジプト記で、イスラエルは神に泣き叫び、神はお聞きになります。黙示録では、イスラエルは7年間の患難時代の終わりに神に泣き叫び、そして、彼はお聞きになります。出エジプト記では、イスラエルは荒野に逃げます。黙示録では、イスラエルは現代のヨルダンのペトラに逃げ込みます。実際に、後半の3年半の間、神はイスラエル、彼の民を守られます。7年間の患難時代の後半の3年半の間。出エジプト記では、イスラエルは解放され、黙示録では、イスラエルは救われます。そして最後に、これは私がこの後で、さらに話したい事です。出エジプト記では 災いが、神の裁きとして襲ってきます。黙示録では、御怒りが神の裁きとして注がれます。だから皆さん、これらの災いを見始めるとき、エジプトに降りてきた災いと類似点は さらに興味深いです。ちなみにエジプトは、聖書の中で 世界の縮図になっています。では、エジプトに降り注いだ災いと、黙示録で7年間の患難時代に 注がれる災い、つまり裁きとの類似点です。

最初の災い、、、ところで、これらは すべて個別の神に特効のものでした。どういう意味かという、襲ってきたこれらの災いすべては、エジプト人が崇拝した神々に 対するものでした。

1つ目は、ナイル川の災い。彼らは、ナイル川を、ナイル川の神を崇拝しました。それは血に染まりました。出エジプト記7章20節です。これは黙示録8章、11章、16章に見られます。次の災いは、私はきちんと区別したいのですが、Frogs/フロッグ = カエル の災いです。(JD) Farag/ファラグ ではありません。私の父は、エジプトで生まれましたけど、これはファラグではありません。これはフロッグ/カエルです。出エジプト記8章6節。具体的にはカエルではありませんが、それは黙示録16章13節とつながっています。次の災いは ぶよ でした。出エジプト記8章24節(訳注:16節)。黙示録11章6節です。次の災いは あぶ でした。出エジプト9章6節(訳注:8章24節)。それもまた黙示録11章6節です。次ののは、これは興味深い、食料源。家畜が、すべて破壊されました。出エジプト記9章6節。黙示録では8章9節です。次の災いは 腫れ物。出エジプト記9章10節。黙示録16章2節です。次の災いは 雹。大変破壊的です。出エジプト記9章23節。黙示録8章7節と16章21節です。

次の災いは、これも大興味深い。いなごの災いです。出エジプト10章3節。黙示録9章3節で、この裁きが下ります。先週、ある記事を読んだばかりですが、このイナゴの大群は実際に成長していて、どこへ行っても荒廃の跡を残しています。そして、9番目は、暗闇の災いでした。出エジプト記10章22節。黙示録8章12節、9章2節と16章10節です。繰り返しますが、これは私たちの教会のウェブサイトでご覧になれます。ダウンロードしていただけますが、皆さんにどうしてもお勧めしたいのは、ベリア人のように、自分で聖書を調べ、私が言っていることが本当であるかどうかを確認してみてください。さて、なぜ私はこれ全部を話しているのか？ なぜなら、当時のエジプトで起こった これらすべてのことが、最終的に次の10番目の災い、この最後の災いをもたらしたからです。それはエジプト中の、極めて大事な男児の初子の死でした。出エジプト記12章に記録されています。なぜ私は「極めて大事な男児の初子」と言うのでしょうか？ なぜなら、中東では、今日に至るまで、息子、長男はとても大切なのです。それが跡継ぎであり、最初に生まれる息子が、姓を継ぐものです。実際、中東の私のアラブ文化では、父親をその人の長男の名前で呼ぶことが、大変名誉なことなのです。私の名前はワヒード、JD はニックネームです。それは「イエスの弟子」の略です。それは実際に法律上

の別名なんです。

しかし、私の名前はワヒードです。アラビア語のワヒードは、「第一・長男」という意味です。数字の1から5は、ワヒド、エスネイン、タラサ、アバア、カムサ。つまり、私は最初に生まれた息子です。私の父は、非常に教育のある人でしたが、「アブ・ワヒード」と呼ばれるたびに、大変に光栄に思っていました。「ワヒード(最初に生まれた息子)の父」という意味です。私の長男の名前はイライアスです。

私にとっては大きな名誉、実際には、もっと大きな名誉になるんです。私のことを、少なくとも私の文化では、牧師としてではなく、「アブ・エリアス」、「イライアスの父」と呼んでもらうと。したがって、これは男児の初子で、これが最後の災いでした。これが最後の災いで、これはパロを突き動かし、イスラエルを解放させたというだけではなく、彼らを追い払い、追い出させたわけです。この10番目の最後の災いのせいで。非常に興味深いです。なぜなら、

**「神は、実にそのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」 (ヨハネ3:16)**

そして、これが深遠な「過越しの預言」が登場するところです。それは、神のひとり子、キリスト・イエスによって、彼の初臨時に成就されています。これが私たちが聖餐式を祝う理由です。繰り返しますが、この時間の終わりにお祝いします。皆さんと2つの考えを共有したいと思います。今週私は、主との時間の中で… どういえばいいでしょう。自分が可哀想だと思って、、、言ってしまいました。今朝、ライブ配信を始める前に、この美しい教会の敷地内を散歩しました。私と主と二人だけの時間、ただ主に話しかけました。愚痴のようなものですが、もちろん「愚痴」とは言いません。牧師として、私たちはそれを「嘆き」と呼びます。その方がずっと霊的な響きがあります。ただ主に、泣き叫んだのです。「主よ...私は信者の方々、地元の人々との交わりが恋しいです。」皆さんがいなくてどれだけ寂しいか伝えられません。どうしても、違うんです。まあ、とにかく、マスカラが落ちる前に、ホントはマスカラはしてませんが。それで私はこのことについて、主と語っています。

「主よ。これは、辛い復活の日曜日のお祝いになりそうです。」主は、私の心を落ち着かせるような2つの考えを導いてくださいました。皆さんに共有したいと思います。1つは、イスラエルに関する事。これは面白いです。過越しの日に、ユダヤ人が家にとどまるよう命じられたのは初めてです。エジプト記12章で、イスラエル人がエジプトで奴隷であった時に、規定されて以来です。彼らが言わば、ロックダウン状態にあるのは初めてです。2つ目は、教会に関する事。これは私たちの生涯で初めてのことで、間違っているかもしれませんが、教会の歴史の中でも初めてのこともかもしれません。私たちがキリストの墓が空であることを祝う日に、教会が空なのです。イスラエルに行かれたことのある方々は、...

長年の間に、私たちと一緒に多くの方が行かれましたが、イスラエルに行って、最もパワフルな体験の一つは、園の墓に入っていく時であると、皆さん同意されると思います。...ハワイでは、それを「鶏の肌(鳥肌)」と呼びますが、本土では「ガチョウの肌(鳥肌)」と表現します。何と呼ぼうが構いませんが、

しかし、とにかく、すごく強烈なんです。墓が空っぽですから。彼はそこにおられない。彼はよみがえられた。彼は死を打ち破られた。すべての怒り、すべての裁き、すべての災いが神のひとり子のよみがえりにおいて、成就されたのです。そして、この日... 私は、これが私たちがこれまでに経験した

この ないような事であると確信しているだけでなく、また、このようなことは 人類の歴史で 二度と起こらないだろうとも信じています。しかし、神は。皆さん、その2つの言葉がお好きでしょう？ 私は大好きです。それが、すべてを変えます。しかし、神は、彼だけがお出来になる方法で、現在私たちが知っている人類歴史の最後の時間に、より多くの人々を彼のもとに辿り着かせるために、この危機を用いられているのです。ここ数週間、私は、たくさんの知人から 多くの電話を受けています。私たちはただ色々話をして、あれこれ 話し合います。このことについても話して、何とというか、情報交換をします。

もちろん、私たちは長年にわたって 聖書の預言について話してきました。前にもこのことを言いましたが、また言わせてもらいます。やはり、皆さんがうんざりしなければ いいのですが、しかし、これはシュールです。現実離れしています。でも、現実なんです。私たちには今、生涯で最大の機会があると 信じています。使徒ペテロが書いたように、 私たち内にあるあのその希望の答えを すべての人に伝えるための機会です。あなたがこれを見ておられて、 イエス・キリストを信じておられない場合、救いを受けるために、イエス・キリストの御名を 呼び求めたことがないなら、あなたに、ちょっとお話ししたいのです。神はあなたの注意をひかれましたか？ そのようですね。神はこのようなことがすべて起こるのを 許されたのでしょうか？ 神はそうなさった、と 私は言わせていただきます。これは終わりへと続いていくのか？ 私は間違いなく、 そうだと信じています。今日の生活は、以前と、 再び同じようになるのでしょうか？ 私は、そうなるとはとても思えません。だから、あなたはこのような時のために これを見ているのかもしれませんが。神があなたの注意を引かれている今。神のみこころは、誰ひとり滅びることがなく、すべての人が悔い改めて、 イエス・キリストの救いの知識に至ることです。あなたがこれを見ていて、 あなたがイエス・キリストの信者であるなら、私は本当にあなたを励ましたいと思います。

これは人類の歴史の中で、 生きているのに最も素晴らしい時です。とってもワクワクします。なぜなら、教会の携挙の前に起こることとして 聖書の中で告げられているすべてのことが、私は神の預言の言葉の権威に従って言いますが、それが、今起こっているのです。今、起こっているのです。そして今ほどに、良い知らせ、つまり イエス・キリストの福音を伝えるのに 適した時はありませんでした。彼は十字架につけられ、埋葬され、3日目によみがえられた。そして、彼はいつか再び戻ってきます。たぶん、このように言えるのかもしれませんが。それは過度に単純化しすぎかもしれませんが、 イエスが答えです。イエスは唯一の希望です。それがわたしたちの祝福された希望です。それが良いニュースです。あなたが私のようななら、 そうだと思いますが、あなたはテレビをつけると、何を目にしますか？ 悪い知らせ以外の何もない。数は悪化するばかり。大都市の不気味な映像が映し出されますが、 殺風景です。誰も外にいない、誰も閉じ込められています。私は、神が最後の警告、最後の呼びかけとして、 これをお許しになったのだと信じています。興味深い事をご存知ですか？ 出エジプト記の災いの間、パロはそれらの災いのいくつかについて、 警告を受けたのですが、彼は心を頑なにしました。いくつかの災いには、警告はなかった。ただいきなり襲いかかりました。私が信じるに、神は、神の恵み、神の慈しみ、神の愛において、世界に警告を与え、最後の呼びかけをしておられます。イエスが来られます。イエスが答えです。イエスはあなたの答えです。有名な言葉にあるように、あなたにイエスしかなくなるまでは、 あなたは決して、イエスさえいればいいことを 知ることはないでしょう。私が何か一つでも正しいことをしているとしたら、 —そうしてると願いますが、—それは可能な限り

迅速に イエスのもとにあなたを行かせることです。そして、良い知らせ、 イエス・キリストの福音に。それが私たちがここで祝っているものです。今日の 復活祭の日曜日に。パウロが「**コリント人への手紙第一 15章**」に 書いています。

1 節から 4 節を読みたいと思います。 彼が語っている事をお聞きください。

「兄弟たち。私があなたがたに**宣べ伝えた福音を、 改めて知らせます。.....あなたがたはその福音を受け入れ、 その福音によって立っているのです。**」 (コリント第一 15 : 1)

「私がどのようなことばで福音を伝えたか、 **あなたがたがしっかり覚えているなら、 この福音によって救われます。...そうでなければ、あなたがたが信じたことは 無駄になってしまいます。**」 (コリント第一 15 : 2)

別の箇所でパウロが語っていることを たった今、思い出しました。福音を宣べ伝えないなら、彼はわざわざいだ、と。これが福音を宣べ伝えることです。

「**私があなたがたに最も大切な事として伝えたのは、 私も受けたことであって、次のことです。...**」

そして、ここで、良い知らせです。福音です。答えです。

「**...キリストは、聖書に書いてあるとおりに、 私たちの罪のために死なれたこと、**」 (コリント第一 15 : 3)

「**また、葬られたこと、 また、聖書に書いてあるとおりに、 三日目によみがえられたこと、**」 (コリント第一 15 : 4)

聖書に書いてあるとおりに、という意味は、 イエスが、聖書にある預言を すべて成就したということです。旧約聖書の中には、イエス・キリストの初臨を 指し示す預言が、文字通り何百とあり、 それらは成就したのです。そして、それが福音、良いニュースです。「福音」という言葉は、文字通り「良い知らせ」という意味です。あなたの負債は支払われました。ですから、あなたは自由に行ってよい。こんな風に想像してみてください。あなたは法廷にいます。あなたは逮捕されたのです。そして、あなたは罪で起訴されています。そして今、あなたは答弁する 必要があります。あなたは有罪の申し立てをしました。そして、あなたは有罪判決を受けました。なぜなら、あなたは法律を破ったからです。さて、宇宙の裁判官が、この永遠の法廷で、これから判決を言い渡します。そして、彼はあなたに死刑を宣告します。そしてその瞬間、一人の男が入ってきます。普通の人ではありません。「神の人」です。完全に人間であり、完全に神である キリストなるイエス。そして、彼は宇宙の裁判官に、その永遠の法廷で、「全部お止めください。そこまで。私がお金を支払います。...私が代わりに、彼の死を 彼女の死を受けます。」

そして、裁判官はあなたを見て言います。「良い知らせだ！！...あなたの負債は全額支払われる。...あなたは自由に行ってよい。」福音の意味することは、それです。だから、それは良い知らせなのです。イエス・キリストが来て、彼はあなたのために死んでくださり、 彼は私のために死んでくださった。そして彼は、私たちの罪の全てを 完全に支払ってくださった。私たちはこの後まもなく、 それを聖餐の席で祝います。数年前に主が私の心に 強く示して下さった事の1つは、私たちの「預言アップデート」の 締めくくりに、福音だけでなく、 非常に簡単な子供でもわかる救いの方法を 共有することの重要さでした。

贈り物、神が差し出して下さる贈り物、 この永遠の命という贈り物に応答するために。だから、私は「救いの ABC」を始めました。これが今私が、 皆さんと共有したいものです。

A : Admit/認める または、 Acknowledge/認識する。 「そうだ。私は罪を犯した。」私は逆らいました。

私は、神の完全な義の基準に及ばなかった。そして、罪びととして、 救い主が必要であることを認めます。

ローマ人への手紙 3 章 10 節には、 「正しい者はいない。一人もいない。」とあります。

そして、ローマ 3 章 23 節が その理由を教えてください。

「人は皆（私たちの誰しもが）、罪を犯して 神の栄光を受けられなくなっていますが、」（ローマ 3 : 23)

ローマ 6 章 23 節は、 私にとって非常に興味深いです。それは本当に最初に 悪いニュースを宣告する事から始まり、そして、良いニュースが入ります。特に誰かと福音を分かち合う時の知恵だと思います。私たち全員が罪びとであるという理解が必要です。そして、その罪には罰が伴います。私はよくこのように言います。私はそれが適切な英語ではないことを知っています。悪いニュースが悪ければ悪いほど、良いニュースがさらに良い物である。では、悪いニュースは何ですか？ 悪いニュースは、

「罪が支払う報酬は死です。...」（ローマ 6 : 23a)

それは悪いニュースですが、 ここに良いニュースがあります。

「しかし、神の賜物は、私たちの 主キリスト・イエスによる永遠の命なのです。」（ローマ 6 : 23b)

それが A です。 あなたが罪を犯したことを認め、罪の赦しのために 救い主が必要である事を認めます。

B : あなたの心で、 イエス・キリストが主であると Believe/信じる。

そして、神は彼を よみがえらせたことを 信じる。これは「ローマ人への手紙 10 章 9 節～10 節」です。

「口でイエスが主であると公に言い表し、 心で神がイエスを死者の中から 復活させられたと信じるなら、 あなたは救われるからです。」（ローマ 10 : 9)

私はそれが大好きです。救われるかもしれないとか、 救われうるだろうとか、 救われるべきだ、とかではなく、決定は下されました。 評決が下されるのです。「あなたは救われる。」と。そして最後に C。これが「決定打」です。

「主の名を呼び求める者は誰でも救われる。」（ローマ 10 : 13)

また、「ローマ 10 章 9 - 10 節」で言うように、

「口でイエスが主であると公に言い表し、 心で神がイエスを死者の中から 復活させられたと信じるなら、 あなたは救われるからです。」（ローマ 10 : 9)

そして、ここに理由があります。

「実に、人は心で信じて義とされ、 口で公に言い表して救われるのです。」（ローマ 10 : 10)

そして最後に「ローマ 10 章 13 節」 私たちが聖餐式を一緒にする前に。

「主の名を呼び求める者は誰でも救われる。」（ローマ 10 : 13)

私にとっては 38 年前のことです。私はもう自分ではどうにもならなくなっていました。そして、私は単純に、、、 私には、それは単純でなければなりませんでした。ただただ主を呼び求め、 簡単な祈りをささげました。「主よ。。。」 事実私はこれを誇りに思っていないですが、しかし、私とその祈りをし、主の名を呼んで、私の心で信じて、私の口で告白し、罪の赦しのために彼に信頼を置いた時、 私はとても酔っていました。私は麻薬中毒で、アルコール依存症でした。私は他にもあらゆるものの 中毒になっていました。そして、私とその夜祈った時、… 私は決して忘れません。アメリカ本土、1 月の寒い

夜、私は自分の部屋に入りました。私は、とてもシンプルに提示された福音を 耳にしました。とてもパワフルに、けれどシンプルに。そして、主はただ、とにかく、主は私を捕らえられました。私は文字通り、地獄への高速道路を 走っていることに気づきました。当時の私のお気に入りのバンドは ACDC。繰り返しますが、私はこれを誇りに思っていない。何年も経った今でも、その歌の歌詞を言えます。

「I'm on the highway to hell. 地獄への高速道路を走る。」私は自分の部屋に入り、ドアを閉めたのを覚えています。そして、降参した思いで、頬に涙をこぼしながら、私は どれだけの回らない舌で 祈りました。私はただ、こう言いました。「主よ、私は地獄に行きたくありません。」「私は地獄への高速道路を走りたくありません。」「私は天国への高速道路にいたい。」私は実際にそう祈りながら眠りに落ち、翌朝目を覚ましました。私はキリストにあって 新しく造られたものになっていました。以前にしていた物すべてに対し、全く願望がなくなっていたのです。それは本当に劇的でした。人それぞれだと思いますが 私にとっては、本当に劇的に起こりました。私は、ビールで一日を始めるため、アルコールに手を伸ばしました。それから、タバコ中毒、そして薬物。私はそれらすべてのものに手を伸ばしました。すると、聖霊が今、私の中に宿っていました。なぜなら、主の御名を呼び求め、心で信じて、口で告白し、罪の赦しを求めて主に頼る時、彼はあなたの内側に宿られ、贖いの日のために、聖霊によって あなたに証印を与えてくださいます。だから今、聖霊があなたの中に宿っておられます。聖霊が私の中に、内住されてきました。そして私がそれらのものに手を伸ばそうとした時、あのかすかな細い声で、聖霊が仰いました。「あなたにはもうそれらは必要ない。」こんな感じでした。「な、な、なんと！...私は自分の力や、自分の意志で、これらのことをやめようとしてきたのに！」「全くもって止められなかったのに！」私はただ、やめただけではありませんでした。私はもう願望がなかったんです。なぜでしょう？ なぜなら、私は主がいつくしみ深い方であることを、確かに味わったからです。もしかしたら、それは 今日このビデオを見ているあなたかもしれません。あなたがこのビデオを見ているのは 偶然ではありません。そして、あなたがまだこのビデオを見ているのも 偶然ではありません。私はあなたを励ましたいのです。今日が救いの日です。明日の保証はありません。そう思いませんか？ 私たちが今日世界で見ているものすべてが 日ごとに変化し、時に時間単位で変化しています。これはちょっと気が滅入るのですが、今、「第二の波」の話が出ています。一部の人々にとっては、生活が再び通常のような状態に戻ることは ほとんど望みがありません。私はあなたに、申し上げます。この人生は、私たちの希望ではありません。私たちの希望は、永遠の命の中にあります。

さて、では、主の食卓を 一緒に囲みたいと思います。聖餐式のセットをお持ちの方は、お手元にご用意ください。まだご用意なさっていない方の為に、少し時間を置きたいと思います。一緒にいただきましょう。

センセーショナルな、劇的な言い方にならないように 言うには、どうしたらいいでしょう？これはおそらく、最も重要な 聖餐式のお祝いです。私自身のこととして申し上げます。私の生涯で、今日が。今日の聖餐式が。イエスは仰いました。

**「わたしを覚えて、これを行いなさい。」 (コリント第一 11:24)**

言い換えれば、イエスは私たちが忘れがちなので、 私たちに覚えておいてほしかったのです。何を忘れるのか？ 彼が私たちのためにしてくださったことを忘れます。彼が私たちのために死んで下さったこと、彼が私たちのために、死を打ち破られたこと、彼はよみがえられたこと、そして彼はもう一度



来られること。それが私たちの唯一の希望です。私の希望は科学にはありません。私の希望は専門家にはありません。私の希望は間違いなく、CDC/アメリカ疾病予防管理センターにはありません。私の希望はイエス・キリストにあり、彼がすぐに戻ってこられることにあります。これを言わせてください。たぶん、これはこれを聞く必要があつてご覧になっている、どなたかの為です。ひとつ、、、どうか誤解しないでください。私がこれを言うとき、誤解しないでください、しかし、私はこのコロナウイルスにとっても感謝しています。繰り返しますが、ここで誤解しないでください。最後まで聞いてください。この世とこの世の物に対する 私達の執着を緩めるといふ、これまで誰にもできなかった事をしてくれましたからです。

人類の歴史の中で、人々が真の生ける神に目を向けようとしているのは、今、この瞬間です。今がその時です。今です。さらに一步踏み込んで言えば、多分批判されるでしょうけど、構いません。ロバを連れた父と息子を描いた素晴らしい例を思い出します。ある日、彼らは町に行きます。息子はロバに乗っていて、父親と一緒に歩いている。彼らは買い出しのために町に行くのです。町の近くで、人々がこの若者を批判し始めます。「彼を見てごらん。彼はとても若くて強いのに、年老いた父親を歩かせてるぞ。」

「父親をロバに乗せて、自分（息子）が歩けばいいのに！」父親は息子に、「大丈夫だ、息子よ。次の町に着いたら、私がロバに乗るから。...そしてお前が横を歩いて、物資を手に入れよう。」とそしてそうします。彼らが次の町の近くにいると、案の定、批判が始まります。「あの、こき使う父親を見てごらんよ！」「自分がロバに乗って、息子を歩かせるだなんて！」「恥を知れ！！」父親は、「大丈夫だ。どうすればいいか分かっている。」「次に町に買い出しに行く時は、私達は二人ともロバに乗ろう。」それが、批判者を黙らせるはずだ。そして彼らは二人で乗って、買い出しのために町に向かいます。そして、批判が始まります。「あのかわいそうなロバったら！」「あの親子は、あのロバの背骨を折ってしまうぞ。」

父親は、「もういい。。」「あのな、」「二人ともロバに乗らなければいいんだろ！」「二人とも歩けばいいのだな！」「ロバを連れて町に行き、物資を調達しよう。」そして、彼らは町に行きます。彼らは二人とも、ロバと一緒に歩いています。ここで批判が来ます。「あの大バカどもを見てみろよ。」「ロバを持ってるのに、ロバに乗らないんだぞ。」この話の教訓は？何をやっても、批判されます。こんな風に言われているのを聞いたことがあります。ミニストリーをするなら、牧師になる場合は、絶対に、子供のような心と、学者の思考、そしてサイの皮膚を持つべきです。私がこの話をするのは、次のことを言うためです。そして批判したい人には、批判させましょう。しかし私が信じているのは、これは、私たちが、クリスチャンとして祝う最後の復活の日曜日になるかもしれないということです。なぜなら、私はイエス・キリストの現われがそこまで来ていると信じているからです。私は前にもそれを言いました。もう一度言います。私はずっと、こう言っていました。「預言アップデート」をして、14年間、この説教壇の後ろに立って聖書預言をしてきて、そうすることは私の特権なのですが、私は「主の現われが近い」と言ってきました。今、私はここに立って、こう言います。「主の現われが近い」ではなく、「主の現われは、ここに来ている。」

**「主を求めよ、お会いできる間に。」 (イザヤ 55:6)**

さて、私は「ルカの福音書」と、私たちが親しみをこめて”最後の晩餐”と呼んでいるものの、ルカによる描写が好きです。「ルカの福音書 22章」です。聖餐に預かりながら、14節から20節までを読んで

いきたいと思います。ルカが聖霊によって、書いています。

「その時刻が来て、イエスは席に着かれ、使徒たちも一緒に座った。」 (ルカ 22:14)

「イエスは彼らに言われた。... (聞いてください。彼はこれを二度仰います。) ...『わたしは、苦しみを受ける前に、あなたがたと一緒にこの過越の食事をするのを、切に願っていました。』」 (ルカ 22:15)

彼は十字架に向かおうとしています。彼らにそれを言い終わったところです。イエスが彼らと一緒に食べて 過越しを祝うのはこれが最後です。そして、彼が過越しを祝うにあたり、彼が過越の預言の成就をするのです。もう少ししたら、それをもっと説明します。

「あなたがたに言います。過越が神の国において 成就するまで、わたしが過越の食事をするのは、決してありません。」 (ルカ 22:16)

「そしてイエスは杯を取り、感謝の祈りをささげてから言われた。...これを取り、互いの間で分けて飲みなさい。」 (ルカ 22:17)

そして2回目に仰います。

「あなたがたに言います。今から神の国が来る時まで、わたしがぶどうの実からできた物を飲むことは、決してありません。」 (ルカ 22:18)

「それからパンを取り、感謝の祈りをささげた後 これを裂き、弟子たちに与えて言われた。『これは、あなたがたのために与えられる、わたしのからだです。わたしを覚えて、これを行いなさい。』」 (ルカ 22:19)

パンを用意して、ちょっとお待ちください。イエスが「これは碎かれるわたしの体の象徴である」と仰るのは、骨の話がされているわけではありません。彼はご自分の皮膚について話しておられます。と言うのも、出エジプト記の子羊は、過越が始められた時、その子羊の皮膚が 裂かれなければなりません。血を流す為に、体が裂かれなければなりません。だから、彼らはその子羊を選び、4日間かけて、その子羊を過越しの為に精査しました。これは、イエスが 裁判にかけられていた期間と同じです。そして、汚れもなく、罪もなく、シミもなく、しわもないことが分かったのです。そこで彼らは、その子羊が シミもなく、汚れもなく、シワもなく、言わば、罪もないことがわかったら、彼らは子羊の皮膚を裂きました。...子羊の喉を切り裂きました。それがイエスが仰ったことです。「これはわたしの身体です。」「これが過越の子羊としての わたしの身体 象徴です。」一度きりの生贄、わたしがその過越しの預言を成就するのだと。そして彼は、パンを取りました。今日でも、それが中東の習慣であるように、

彼らはパンを裂き、同じ一つのパンから食べるんです。なぜなら、中東文化における考えは、”あなたの中にあるのと同じパンが 私の中にあります。”それは ”a common union/共同結合” "com-munion/聖餐式”です。ところで悲しいことに、西洋文化では、我々は本当には理解できていません。「一緒にパンを裂く」ことの 深さと 豊かさと 意味を。中東では、誰かとパンを裂くと、あなたは、生から死に至るまでも 忠実であることを意味します。アラブ文化、遊牧民文化、古代文化では、あなたが砂漠の中でテントに出くわし、彼らがあなただけを中に招き、 コップ一杯の飲み水と食べ物をくれると、「あなたは命を救った。そして今 生涯忠誠を誓います。」という意味です。素晴らしい、濃い意味があるんです。時間の関係上、その理由のすべてを お話しすることは出来ませんが。しかしイエスは、私たちのために、また、私たちの代わりに、 裂かれるご自分の身体を捧げました。だから、皆さんが私と共

に頂く時、イエス・キリストがあなたのために されたことを思い出しながら、してください。頂きましょう。

主よ、ありがとうございます。主よ、これを与えてくださったことに感謝します。あなたを覚えて、これをする度に。主よ、私たちは、私たちの生活の忙しさ、特に、今のような状況でストレスの多い生活の中で、忘れてしまうからです。それは、私たちが本当に思い出さなければ ならないことを、思い出させてくれるものです。私たちはこの世にいても、この世のものではないということを。ここは私たちの最終目的地ではありません。あなたがこの世に来られ、あなたが罪の代価を支払ってくださいました。

あなたの死と埋葬と復活で。あなたは3日目によみがえられました。そしてあなたは今、天の御父の右の座に座っておられます。その偉大なる最後の時を待ちながら。あのラッパが鳴り響くと、キリストにある死者が最初によみがえり、そして、生き残っている私たちは引き挙げられ、携挙されます。私たちが永遠にあなたと共にいる為です。主よ、思い出させてくださって感謝します。主よ、ありがとうございます。ルカが続けて言っています。

**「食事の後、杯も同じようにして言われた。... (これは本当に重要です) 『この杯は、あなたがたのために流される、わたしの血による、新しい契約です。』 (ルカ 22:20)**

皆さんカップを取り、再び少しお待ちください。私がよく言うのは、私たちが聖餐式を祝うたびに、私たちが手に持っている象徴は、その重要性という点において、決して過大評価されるものではありません。それはイエス・キリストが流された 血の象徴だからです。その血には力があります。それは新しい契約の為の血です。それはどういう意味でしょうか？ 興味深いです。旧約では、罪のための動物の生贄は、その動物の血が流されたときに、"覆い(ヘブライ語でカファー)"をするだけでした。新しい契約で、イエスはそれを果たされました。今は "覆われている"のではありません。東から西が離れているように、離される、取り除かれるという意味です。もう思い出される事もない。聖書は、血を流さずに罪の赦しはないと述べています。私たちが手にしている杯がその象徴です。終わりに、初めの話に戻って うまくまとめることができればと思います。ちょっとお許し頂いて、エジプトに戻りましょう。

そして、ここで10番目の災いです。男児の初子の死。ただし、イスラエル人が…ところで、エジプト人の一部もです。彼らが子羊を取り、正確な時に喉を裂いたら、それは、イエスが十字架におられ、十字架につけられ、彼の血が流された ちょうどその時間でした。彼らがその子羊を取り、その子羊の血を取って、これはエジプトでの話です。そして、彼らがヒソップの枝を取り、、、 興味深いです。予型がたくさんあります。そして、彼らが血にそれを浸し、家の扉の上に塗り、下に受け皿があります。そして側面、扉の鴨居に塗り十字架の形にする。ローマ帝国が、十字架刑を考案するずっと以前に。それは預言でした。予型です。"モアッド"を指す描写。 まだ未来のこと。神の子羊、過越しの子羊が、十字架の上で、彼の血が 私たちの代わりに流される時です。なぜでしょうか。死の御使いが来たときに、玄関に十字架の形で血が塗られていたら、死の御使いは、その家を過越します。そして、私たちも同様です。イエス・キリストが流された血による、新しい契約のおかげで、死は私たちの上を過越し私たちは救われます。それが、過越の預言の成就の力であり、重要性であり、意義なのです。「完了した。」一緒にいただきましょう。

主よ、どうもありがとうございます。主よ、天のこちら側（地上）では、絶対に、私たちがこの世にいる間、それが どれだけ続くかはわかりませんが、私たちはあなたに 十分に感謝することができません。私たちがそんなにも愛するがばかりに、 私たちのために死んでくださったことを。あなた仰った通り、  
「人が自分の友のために いのちを捨てること、 これよりも大きな愛は誰も持っていません。」（ヨハネ 15：13）

あなたは私たちのために ご自分のいのちを捧げられました。あなたは私たちのためにどれほどの愛を持っておられるのでしょうか。主よ、これを見ている人のために、 多分今疑問に思ってる人、 今本当に苦労している人。。。彼らは疑いの種を、思考の土壌に 植え付けることを許してしまったのです。彼らは今、多くのことを疑問視しています。 あなたの慈しみ深さもその一つです。主よ、あなただけが できる方法で、 あなたがご自分を明らかにされる事を祈ります。今すぐ、力強い方法で。今すぐ。彼らに あなたの愛を 注ぎ込んでください。彼らを 聖霊で満たしてください。主よ、体が病んで、苦しみのベッドに いるかもしれない人がいたら、まもなく、本当にまもなく...主よ、あなたの打ち傷によって、私たちが 永遠に新しい身体に変えられ 栄光のうちに完全に癒される日が来ます。主よ、恐怖に満ちている人々のために。統計がそれを証明しています。それは恐れ of 霊です。しかし、あなたは私たちに 恐れ of 霊ではなく、 愛の力を与えて下さっています。愛 of 完璧な愛は、恐れを打ち消します。なぜなら、あなたの愛が私たちに 完璧であることを知るとき、恐れるものなど何ともありません。私達は心を律し、健全な心を持つだけでいいのです。そして、自分の考えや思考の中に 何を許すか 気をつければいいのです。主よ、私たちも あなたのようにその日を待ち望んでいます。そして、私たちは本当に、その日がまもなくだと信じています。またパウロが、彼の人生の終わりに言ったように、彼は競走を走り抜き、あなたが彼に命じたものを完成させた、と。そして彼は、彼を待ち受けているのが 義の栄冠だと知っていました。

そして彼は、それは彼のためだけではない と言いました。主よ、あなたが来られるのを切望する すべての人のために。多くの人があなただけの帰りを切望し、 待ち焦がれてさえいます。主よ、傷ついている人のために、あなたが、彼らの心を励まし、 彼らの心を強めてくださることを祈ります。彼らに、あなたがすぐに、もうすぐに 来られるのを思い出させてください。主よ、その希望に感謝します。その希望をありがとうございます。ああ主よ、私たちにその希望がなかったら、 私たちはどうすればいいのでしょうか？最後に、私はこのビデオを見ている人のために 祈りたいのです。まだそれを見ておられる。あなたが本当に強力に 彼らの心を動かされました。今日が彼らの救いの日になることを祈ります。主よ、このような偉大な救いと 祝福された希望をありがとうございます。主よ、最後に、私がこれを言って祈らなかったら、 大失態になります。マラナタ＝「来てください。」 主イエスよ、早く来てください。恐らく今日にでも。イエスの御名によって祈ります。アーメン。アーメン。この復活の日曜日に、 神の祝福がありますように。アロ〜ハ。

---

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7